

# Berlin Report

September 2024

## CONTENTS

- \* Project 1: Candyman Izakaya
- \* Project 2: HOUSE OF RYE

## 1. Candyman Izakaya

### Project Overview

ベルリンで人気の和風カフェ「House of Small Wonder」が移転した。1930年に建てられたバウハウス様式を思わせる旧ユダヤ女子学校を改装した空間は、どこか植物園の温室を思わせる。今夏から、夜は日本の居酒屋料理をアレンジしたシグニチャーメニューとハイボールを提供する Izakaya 「Candyman」として、営業を始めている。

オーナーの Shaul Margulies は、パートナーの Makoto Watanabe とともにニューヨーク、ブルックリンに2006年和風ブラッセリー「Zenkichi」、続いて2010年に和風デリ「House of Small Wonder」をオープンし、成功させた人物だ。2014年にベルリンに来て、同店の新たな拠点を作った。

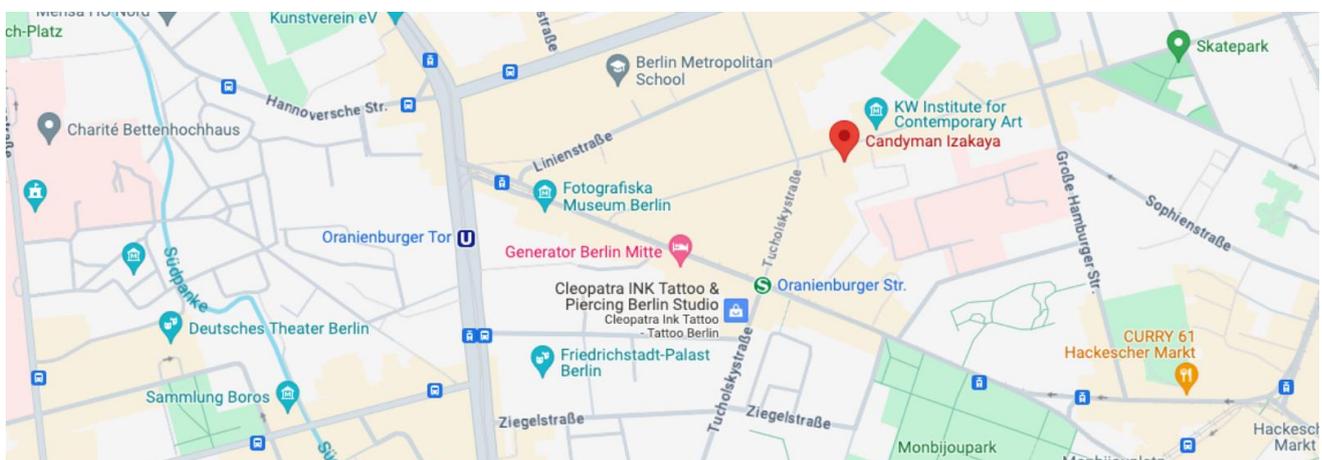
今回の新店舗のインテリアは、先の店と同じく細部に至るまで Margulies 本人が手掛けている。提供しているのは日本風の料理だが、今回のインテリアは前の店とは違って日本にはこだわっていない。その代わり旧ユダヤ女子学校という立地から広がった、イスラエル人の祖父母の家を訪ねた時の思い出からインスピレーションを得て造られている。

赤いタイルが貼られたフローリングの空間には、使い込まれた家具や絨毯を配置し、アンティーク風の壁紙を貼った。それだけでは暗くなりそうだが、小さい部屋の天井にはガラス窓を並べてライトアップすることで、開放感と落ち着きを同居させている。奥の高い天井のホールには、逆に天井に広がるように木を模したオブジェを置き、床を高くして照明も重心を下にして、ミュージアムのような白く巨大な空間を居心地のよい場所に変えた。大きな窓から差し込む光がオブジェを通して、木漏れ日のようにテーブルや壁に射す様子も美しく、つい長居したくなるインテリアだ。

### Project Details

1. Client: House of Small Wonder, Candyman
2. Type of Business: Izakaya, Cafe
3. Open Date: 15/06/2024
4. Location: Auguststrasse 11-13, 10117 Berlin
5. Size: 150 seats
6. Interior: Shaul Margulies
7. Website: <https://www.houseofsmallwonder.de/>

### Location Map





上：アンティークなオブジェとグリーンを散りばめて。下：奥のホールは一部台を置いて床を高くして、木のオブジェで天井を圧迫感なく覆うことで天井が8メートルにも及ぶ開放感ある空間を、くつろげる重心の低い空間に変えている。





上：グリーンと落ち着いた赤を基調にしたインテリア。暗くなりすぎないように、水色の椅子や天井の窓ガラスで明るいアクセントを加えている。



上：建設当初のモザイクが残る入口。赤と緑が基調だ。右下：ホール中央は目隠し付きの台を設置。左下：棚には古いオブジェを並べて間仕切りに。



## 2. HOUSE OF RYE

### Project Overview

世界で最高のライ・ウイスキー（WWA）2019年を受賞したこともある「Stork Club Destillerie」。ベルリン中心部から南に60kmほど離れたシュプレーヴァルトにあるこの蒸溜所が、自分たちのプロダクトをプレゼンテーションする場として作ったのが、「HOUSE OF RYE」だ。クラブが集まるシュプレー川沿いの堀（Flutgraben）に面した一角に、今夏その門戸を開いた。

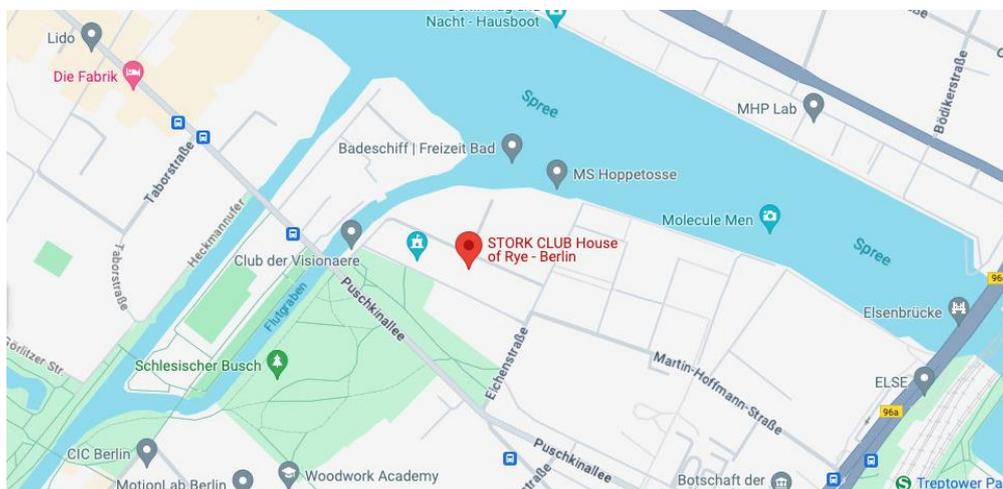
公共交通のバスやトラックの修理工場だった赤煉瓦ビルの一角にあるスペースは、道路に面した部分がバー、その奥には小さなジンの蒸留機が置かれ、さらにその奥はウイスキー倉庫になっている。バーでは Stork Club Destillerie と、共同経営のジンメーカー「HUMBOLDT Rye Gin」の、地元のライ麦を使ったウイスキーとジンをベースにしたドリンクを提供。ベルリン出身でアフリカや南米へ渡って研究を続けた博物学者、Alexander von Humboldt の名前を冠したジンのイメージで、鬱蒼としたグリーンがインテリアのコンセプトになっている。バーの棚には、ウイスキーやジンと共に蝶の標本や顕微鏡などが並ぶ。

バーカウンターはベルリンの古い住宅扉にコンクリートの板を組み合わせ、真鍮の板を貼って作ったもの。家具もベルリンの工房に依頼した特注で、配管が剥き出しになったインダストリアルインテリアと、洗練されたバーの雰囲気両方にマッチしたものとなっている。奥の倉庫にはアメリカンオークやジャーマンオークの樽、シェリーカスクなど様々な樽を壁に沿って三方に並べてあり、これから中央には大きなテーブルを置いて、試飲会などのイベントも開催していく予定だという。今後の展開が楽しみな場所だ。

### Project Details

1. Client: HOUSE OF RYE
2. Type of Business: Distillery, Bar, Event-space
3. Open Date: 01/06/2024
4. Location: Am Flutgraben 2, 12435 Berlin
5. Size: 45 m2
6. Interior: Werkbande
7. Website: <https://shop.stork-club-whiskey.com/pages/house-of-rye>

### Location Map

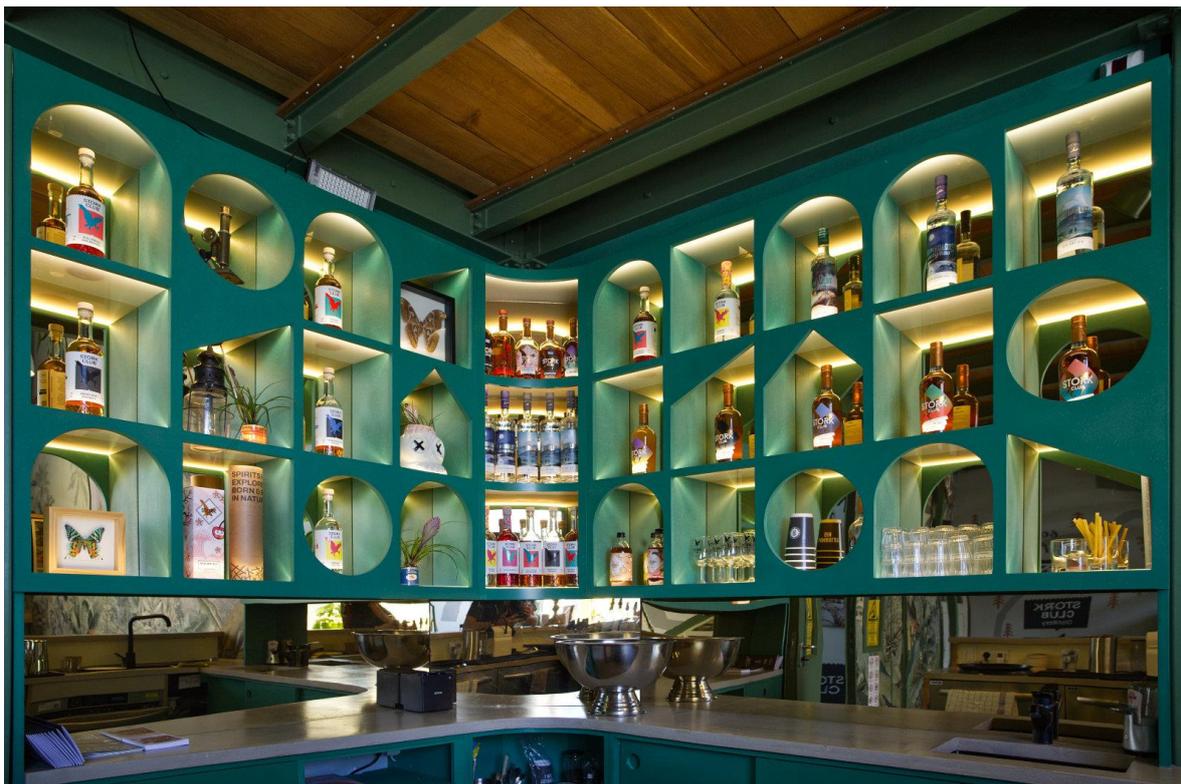




上：大人数のイベントにも対応できるようにバーカウンター以外は全て可動式。

下：樽を並べた倉庫は試飲会やパーティにも。





上：バーの棚は開口部の形をポップに。右下：道路に全開の1階部分とサロン風の中二階を繋ぐ階段。左下：中二階の家具はヴィンテージのものを

